

吟道月報

No12
48・7・5

頌心会

頌心会の歩み(四十四年)

昭和四十四年三月三十日、オ二田吟詠連盟の大会を
行つ、出吟出演数は百五番、頌心三十九、吟友十三、
金港十六、青嵐六、光七、遥吟八、紫舟十その他で極
めて盛況、連盟の大会もやつと定着し、諸派諸団体一
体となり数に於て二百数十名が文化都市遥子の文化向
上に一役を買つたこととなった。(こゝで松井芸洋先生、
常盤正湘先生を連盟顧問に推戴し前進することとなつ
た。

六月八日、日本詩吟学院神奈川県本部の創立十五周年
大会を鎌倉中央公民館で開催する運びとなった。独
吟は会長及び副会長の二人、台吟女子会員の嵯眉山月
の歌、詩舞静御前が参加、諸役員の骨折りも極めて順
調に盛会裡に終了した。

遥子市文化祭には出吟、出演数九十八題で
参加者多数、市民の好感も次第に高まった。こ
の年の秋境内のオ二田会場が決定した。

県本部はこの年、四十四団体二〇一二名を登録し頌心会
も登録数を百三十名とし、全員一体の精進で益々々の発
展が予測される快運となった。

県本部関係

◎ 六月二十四日、県本部総会(理事会)川崎市小杉エ
ニオンビルで開催、竹石颯風が会長代理として出席、
二十周年大会を四十九年八月横須賀地区に於いて開く
と決定

◎ 正島会オ十七回吟道大会七月二十九日金沢区綜合会
舎で開催、会長及び台吟コンクールに遥子支部より男
子五名出吟する。

頤心会 本部関係

◎ 七月八日 理事会開催、会則の一部改正を行う、
(後日全会員に印刷配布)、その内副会長一名を三名と改正、会長不在の時、その職を代行する外濠子(一一〇名)葉山(一四〇名)大船(五五名)地区毎の総合的業務に会長職を代行する、と決する。

を決定、改選役員左の通り

会長 二 井西玄正山(再任)

副会長 竹石憲風(濠子地区)

井沢朝風(葉山地区)

下條拓風(大船地区)

総務及会計 千葉剣風

相談役河野 沼田光風

(追加) 小峰順風

理事数左の通りとす(その氏名を各支那毎に並出決定の上、八月四日までに総務千葉剣風まで提出の事)

濠子(3)、堀内(3)、大船(4)、一色(3)

長板(3)、下山口(3)、富士見(1)、桜山(3)

沼向(2)、山ノ根(1)、建設(2)、吟禰(1)

銀詠(2)、紫舟(1)、芦塚(2)、葉巻(1)

以上十六支那

◎ 泉本部費は四月以降、20円を40円と決定従つて会員の本部費従来月名々50円を70円と決定しました、六月まで各支那納入済みですから七月以降実施します、納期は後日通報します(二十六未納の方は半額)

◎ 泉本部の登録員数と四十八年度二七〇名としました

◎ 九月十六日 九三〇より七七〇のまで図書館ホールで秋季昇修査定会を行います(前回通り二部に分けて)

◎ 八月四日(土) 逗子放場なぎさ会館で右資格審査
会を開きます。受持所範相談役の方参集して下さい。

諏訪岳風先生展墓吟行会

実地要領は近く参加者に印刷配布しますが、十月六
日及び七日の昼食を一括注文し、経費に繰入れました
ので、所要経費予定八千円を九千円といたしましたと思
います。悪しからず御了承下さい。

参加人員・逗子(12) 堀内(20) 大船戸塚(21)

下山口(4) 一色(7) 沼間(1)

桜山(13) 建設(3)で、補助席を使はずに

更に十六席準備があります。経費の都合もあり十六
名位の追加参加を熱望します。

以上を再確認の上、八月四日までに人名を会長まで
再提出して下さい。都座割の都合もありますから、
それ以後は人員充足のため他の会に呼びかけること

もありません。御了承を
経費九千円は、必ず九月十六日審査当日までに会計担
当の加藤列風さん又は 会長までお届け下さい。

会員の動向

新会員

吟神支部

戸田 良 横須賀市追浜本町一の六五 電なし

小山田三江 ミナエ 横須賀市秋谷二七一 電(56) 八七五〇
呼出 新倉

沼間支部

高橋 康郎 逗子4の3の6 電(71) 七二六三

蒲池トミ子 沼間2の8の5 電(71) 四九六一

退会員

桜山支部 有償監泉

大船支部だより

七月三十日(月)放場でAB班合同講習会を開き
ます。